

花野井と大洞院の歴史展



墨書土器(寺) 尾井戸遺跡出土



平将門甲冑之図(船橋市西図書館所蔵)



花野井村絵地図(明和9年・1772)



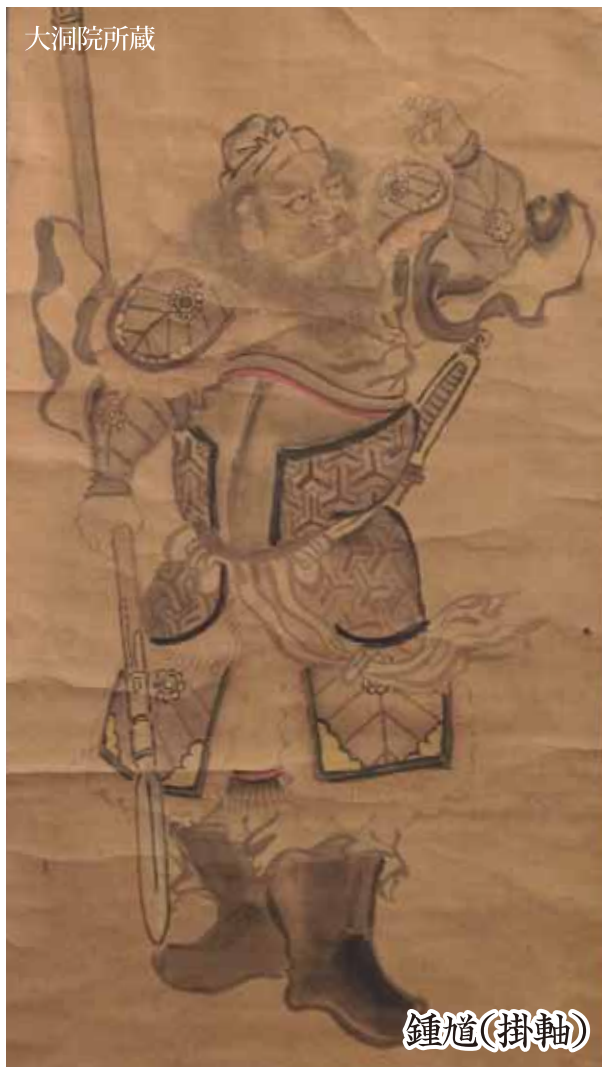
六地藏(大洞院 山門 明和5年・1768)

期間	4月26日～5月26日
時間	9時～17時(毎日開場)
場所	大洞院ギャラリー
料金	無料

※5月19日は大洞院三十世大徹誠治大和尚七回忌のため展示をお休みします

花 曹洞宗 花井山 大洞院 禪

大洞院所蔵



鍾道(掛軸)

縄文時代から現代までの
花野井という地域の歴史
大洞院という寺の歴史
二つの関係を辿りながら歴史を紐解く特別展です



大洞院所蔵



板碑

板碑は石板に彫った卒塔婆状の供養塔で、鎌倉時代中期から戦国時代に造立されました。中世にも大洞院があった弁天山から出土した板碑を展示しています。暦応4年(1341)の年号や梵字が刻まれたものがあります。

柏市教育委員会所蔵



手捏土器と剣形滑石模造品

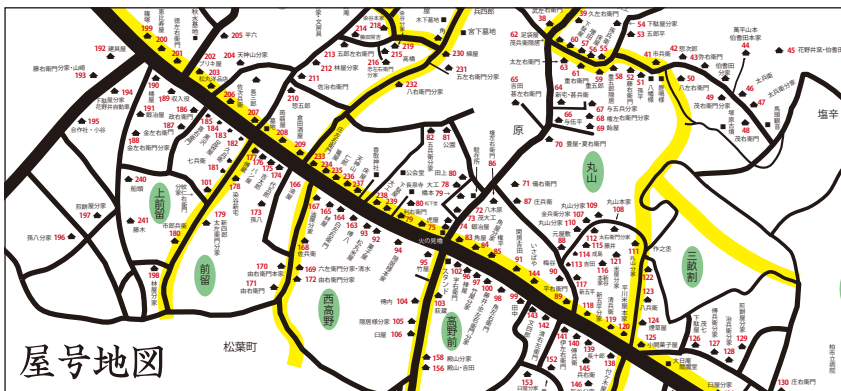
左:手捏土器:祭祀用に作られた非実用の土器です。粘土を手掌中で整形して作ることから手捏ねの土器と名付けられました。尾井戸遺跡から出土した手捏ねの土器3点を柏市教育委員会から借りて展示しています。
右:剣形滑石模造品:古代の信仰は、剣や玉や鏡をはじめ特定の器物に内在する霊力を信じ、その庇護を受けようとするものでした。祭祀では、真榊に滑石模造品を掛けて立てた齋庭で神への祈りを行ったと考えられています。

柏市教育委員会所蔵



墨書土器

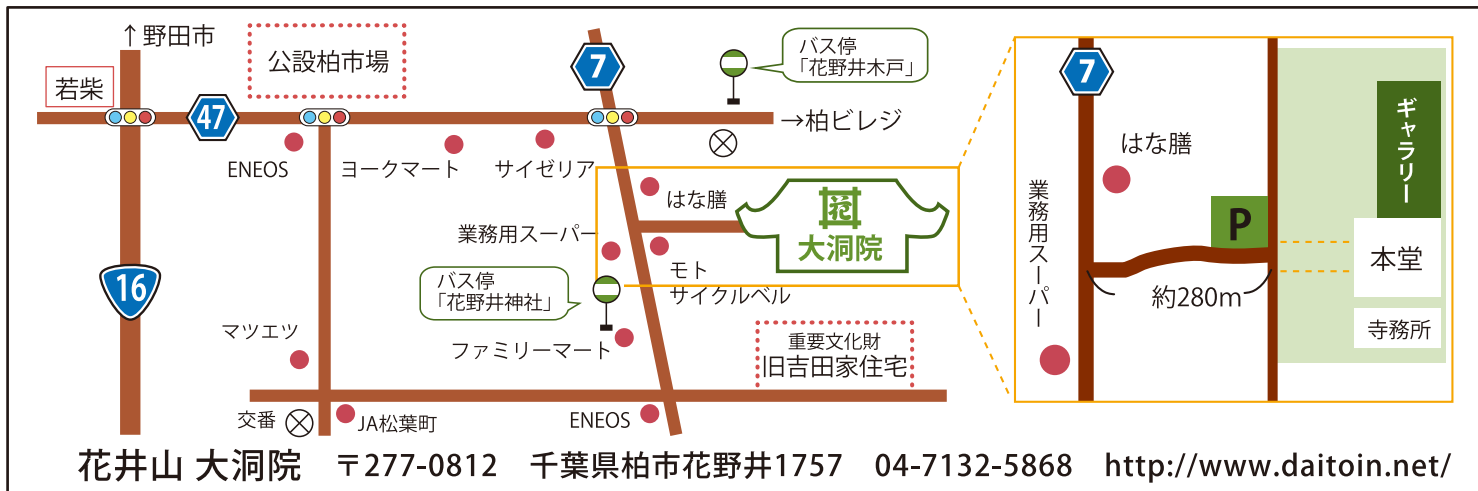
尾井戸遺跡から出土した土器で、「寺」の墨書があります。尾井戸に掘立柱建築わらぶきの小堂宇があり、それが大洞院の起源となったのではないかと考えられています。



屋号地図

昭和初期からの花野井村の屋号を調査した地図が完成しました。(松丸精作・小柳満雄氏制作)花野井村の戸数は、江戸時代から昭和初期までほぼ変化していません。屋号は、花野井の歴史と深い人間関係を感じさせます。

5月12日まで、柏市郷土資料展示室で花野井村絵地図、検地帳を展示しています。



花井山 大洞院 〒277-0812 千葉県柏市花野井1757 04-7132-5868 <http://www.daitoin.net/>